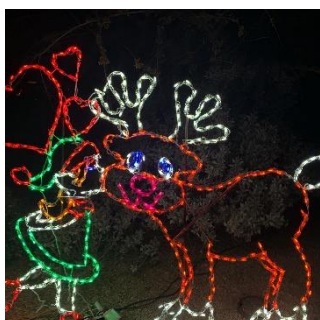


みなさん、あけましておめでとうございます。楠田です。こちらではクリスマスの1週間ほど前に期末テストを終えていて、冬休みを楽しんでいます。期末テストは教科によって難易度が様々でした。一番難しかったのは世界史のテストです。AP テストという大学の単位をとるためのテストと同じような形式の問題が半分ほどあり、英語の文章を読むのが大変でした。そのほかの教科は小石川のテストに比べれば簡単で、テストが無い科目やプレゼンテーションをするだけの科目もありました。



さて、今回はアメリカでの行事をご紹介します。こちらに来てから、サンクスギビング、誕生日、クリスマスを経験しました。日本とは異なった行事を通して、ホストファミリーとより仲良くなったり、文化を学んだりすることができました。サンクスギビングについては前号で説明したとおりです。

まずは誕生日です。誕生日は友達を招いてパーティーをすることが多いようです。このパーティーでは親がお金を出すのが一般的だそうで、盛大に行われています。ホストシスターは友達とボウリングに行き、ピザとケーキを食べて、プレゼントをもらっていました。私は一番仲の良い友達のグループで一緒にお昼ご飯を食べ、アナ雪2を観ました。現金やギフトカードをプレゼントにしているのが印象的でした。

次にクリスマスについてです。クリスマスは一年で最も大きな行事だそうで、サンクスギビング（11月の第三木曜日）の次の日にはクリスマスの飾りつけが始まります。私のホストファミリーのお家では、2m近い高さのあるクリスマスツリーや、たくさんの置物などで飾りつけをしました。このツリーの下にプレゼントを置くので、日に日に大きくなるプレゼントの山を見ると、とてもワクワクしました。

また、このころからクリスマスミュージックが流れ出し、街はクリスマス一色になります。とても華やかなデコレーションの家が集まっているところや、図書館で行われたイベントなどにホストファミリーと一緒に出掛け、イルミネーションを楽しみました。

クリスマス直前の日曜日には友達に招待されて、Posada というメキシコの行事に参加し、とてもいい思い出を作ることができました。私以外は全員友達の親戚だったのですが、おいしいメキシコ料理をいただいたり、小さな子供たちと遊んだりして楽しく過ごしました。ホストファミリーも聞いたことがないと言っていたような通常は家族



だけで行う行事に参加できたのがとてもうれしかったです。

クリスマスは日本のお正月のように親戚で集まって過ごすのが一般的だそうですが、私のホストファミリーは親戚がとても遠くに住んでいるようで、家族だけで過ごしました。クリスマスの朝にはたくさんのプレゼントを開け、その後ハム（スライス前）を食べて過ごしました。

クリスマス後、日本では一気にお正月の準備が始まると思いますが、アメリカではニューイヤーはクリスマスの延長のような感じで、街はまだクリスマスの余韻に浸っています。例えば、クリスマスのデコレーションはまだ残っていますし、ラジオではクリスマスソングが流れています。



今月一番頑張ったのは期末テストに向けた勉強です。部活動との両立が大変でしたが、無事に終わられました。冬休みに入ってから行事を通して様々な文化に触れることができ、とても良い経験になりました。期末テストの勉強をしている過程で語彙力と速読力が足りないと感じたので、次の期末テストでは成長を感じられるように英語の勉強を頑張ります。

(→)クリスマスのデコレーションの一つでキリストの生まれたところを表している飾りです。



(←) “The Elf on the Shelf”

毎朝違う場所にいる小人を探す、クリスマスの遊びです。小人はその家の子供がいい子にしているかどうかを観察していて、毎晩北極に帰ってサンタに報告しているというもので、リップクリームを塗っていたり、コーヒーを飲んでいたり、少しおかしいことをしている小人を見つけるのが楽しかったです。